

# 飯山市まちづくり基本計画（案）への意見と対応方針 （パブリックコメント期間 1/16～2/16）

意見者	意見	対応方針
<p><b>Aさん</b> (飯山市内在住 男性)</p>	<p>基本理念 寺町飯山シンプル都市をめざし自然との調和した一体型都市とする。</p>	<p>まちづくりの基本理念として、「厳しさと豊かさを持つ自然と共生するまちづくり」「歴史と文化にほこりを感じられるまちづくり」を設定し、交流と連携の中で多様な人々が支えあうふるさとのまち飯山を進めてまいります。</p>
	<p>現在から 6,000 人近く人口が減ることから新幹線移動 3,000 人、移住者 3,000 人程を目標とする。</p>	<p>第 2 期飯山市総合戦略の人口ビジョンでは、出生率の改善、移住定住施策の推進など自然増や社会増に関する様々な人口対策事業を取り組むことにより飯山市人口ビジョンの目標人口を 2045 年（令和 27 年度）に 13,000 人に設定しています。</p>
	<p>グリーンツーリズムの継承及び、自然を活かした遊び方、又、農業分野での維持・特産品への取組みを開発、製品化していく。</p>	<p>まちづくりの基本理念の「厳しさと豊かさを持つ自然と共生するまちづくり」の具体的な取り組みとして地域の皆様と取り組んでまいります。</p>
	<p>現在の老人施設入居者を長野県人会等々の活用も一考かと。 ※趣旨聞き取り：入居募集の際、市外県外等へ広くPRしたらと思う。高額所得の入居者もいるので・・・(サ高住のイメージのようです)</p>	<p>新幹線開業により首都圏からも近く、自然豊かな飯山市への移住定住促進に対するご提案ありがとうございます。</p>
	<p>災害リスクをふまえ、治水計画を立て（予算計上し）回避できるものとする。</p>	<p>現在進めている、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」により、国・県・市町村が連携し災害リスクの軽減・回避に向けて取り組んでまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蕨野高速リフト（北）東側にホテル 100 人宿泊規模（8～7 割集客）、一階レストラン、医療救護所側ヘリポート（機能集約）</li> <li>・スキー場としての安全対策の徹底</li> <li>・無理のない税収があがる様に</li> </ul>	<p>戸狩温泉スキー場の具体的なご提案についてありがとうございます。観光誘客のご提案として戸狩温泉スキー場㈱へもお伝えいたします。</p>

意見者	意見	対応方針
<p>Aさん (飯山市内在住 男性)</p>	<p>駅前ホテル建設計画用地 100人～150人宿泊 6階以下 半地階にスポーツ施設（公認プール、フィットネス、エクササイズ、ヨガ等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学療養も兼ね、無理のないものとする</li> </ul> <p>水の問題にあつては、マンション駐車場を広く取り、排雪等の雪を水瓶に集め、落差により浄化装置も使用し、緊急時にも使用できるものとする</p>	<p>中心拠点での開発の具体的なご提案についてありがとうございます。観光誘客および都市機能施設のご提案として参考にさせていただきます。</p>
	<p>マンション建設用地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリータイプ 120室 150m<sup>2</sup>以下、3階以下</li> <li>・小規模遊園地、駐車・駐輪屋根付き、休憩場も、散歩道の整備</li> <li>・駅前、雪の排水側溝も落差勾配による</li> </ul>	<p>中心拠点での開発の具体的なご提案についてありがとうございます。観光誘客および都市機能施設のご提案として参考にさせていただきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村地域に人々の移動に伴う活性化事業のとりくみ。</li> </ul> <p>具体的に温井茶屋池にサクラマス稚魚の放流。中禅寺湖なみ（ヤマメ陸封型）。誰でもつりが出来るように無料金額から有料金額とする。</p>	<p>地域の活性化事業としての具体的なご提案ありがとうございます。</p>
	<p>温井集落最終地（田茂木池登り口）左側遊休地に駐車場及びオートキャンプ場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漬物工場（スイカ摘果等）</li> <li>・夜空観測所としての機能建物</li> <li>・温泉の試掘（田茂木池）</li> </ul>	<p>地域の活性化事業としての具体的なご提案ありがとうございます。</p>

意見者	意見	対応方針
<p>Bさん (県外飯山市出身 男性)</p>	<p>1、飯山市の立地適正化計画は国交省の「立地適正化計画の作成の手引き」(国交省手引きと略す。)に従って作成されていません。全部、国交省手引きに従って見直しが必要であります。特に飯山市の人口減少は長野県 19 市中で一番激しく、集落によっては 20 年以内に消滅の可能性があります。また集落によって、人口減少の時間的変化が異なると思われます。従って「国交省の手引き」のマイクロ分析の部分にパソコンで簡単に集落毎の総計人口、高齢者人口、生産者人口、年少者人口の分布等が解析できると紹介されています。是非、飯山市の集落毎の 2010, 2020, 2030, 2040 年の人口分布図等を作成し、これと公共施設(教育施設、介護施設、医療施設、役所施設、道路橋梁施設、上下水道施設等)の現在の配置分布を地図に表示すると各施設が今後どのように誘導すべきかが見えてくるはずです。その他。国交省の手引きに従って作成ください。</p>	<p>本計画は、立地適正化計画作成の手引きをもとに作成しておりますが、画一的な手引きに対して地域の実情によりオリジナルの部分もありますので、国土交通省ならびに長野県への相談および指導を仰ぎながら進めております。</p> <p>人口予測および将来人口ビジョンについては、令和 2 年 6 月策定の飯山市地方創生総合戦略において設定し、本計画の人口に係る部分に反映しております。</p> <p>今後は集落の人口分布や動向も鑑み、公共施設管理計画などの諸計画とも連動し誘導することとなります。</p>
	<p>2、住宅誘導区域、都市機能誘導区域、中央処点等の設定も人口密度を決め区域範囲を決める必要があります。(区域境界の線引きが必要ではありませんか！)</p>	<p>居住誘導区域内の人口密度を明確にいたします。</p>
	<p>3、防災について基本的な考えを明確にし、各地区の対応を決める必要があります。特に浸水の場合、千曲川の両側の飯山市街地、木島地区、常盤地区は雨量発生確率 100 年に 1 度以上の場合は 10~20m の浸水になると推定されます。従って、人命救助の観点から避難を如何にするかで対処が必要であります。</p>	<p>飯山市地域防災計画および飯山市国土強靱化計画により、災害リスクへの対応策を明確にいたします。</p>
	<p>4、用語に不明なところがあります。素人にもわかる様に用語欄を設けてください。例えば生活処点、中央処点、施設利便評価点、・・・・等</p>	<p>計画書巻末に用語解説を添付します。</p>

意見者	意見	対応方針
<p>Bさん (県外飯山市出身 男性)</p>	<p>5、次の間違いを訂正願います。</p> <p>(a) 99 頁及び 113 頁の 1000 年に 1 回程度の大雨という言葉は 100 年に訂正下さい。河川工学の専門家には 1000 年に 1 回という言葉はありません。日本の 1 級河川の千曲川の堤防、橋、水門は 100 年に 1 度、ダムのみ 200 年に 1 度の大雨の確率を使います。皿川は 30 年に 1 度の確率です。</p> <p>(b) 95 頁の表 4-8 は本計画の再見直し後に再設定ください。誘導区域の設定によりますが人口の大幅減少により人口密度の低下が予想されますので現状維持は困難です。可能な目標に変更してはと思います。また、表 4-9 は第 4 章立地訂正化計画の目標外ですので除外ください。(総合戦略会議の目標値です。)</p>	<p>(a) 文中「1000 年に 1 回程度の大雨 (想定最大規模)」の表現について「想定最大規模の降雨 (千曲川流域の 2 日間の総雨量 396mm)」に訂正をいたします。</p> <p>(b) 居住誘導区域内の人口密度の目標数値(27 人/ha) について、将来人口ビジョンにおける 2035 年の社人研推計と飯山市目標人口の差の中に、居住誘導区域内目標人口密度 (27 人/ha) に相当する人口が内数として含まれています。今後の人口対策事業とあわせて居住誘導することにより、目標とする居住誘導区域内の人口密度を現状維持するとしています。</p> <p>また、表 4-9 については、本計画と他の計画が連動することにより効果が現れることであり本計画の目標としております。</p>
	<p>6、都市計画特別措置法第 81 条 22 項及び国交省手引きに従って、都市計画審議会、住民の説明会、公聴会 (飯山市街地 2 箇所、旧村に各 1 カ所程度) を開催下さい。その後パブリックコメント応募を行うのが流れです。住民が住居を新築又は移転するのは生涯に 1 度の大投資です。住民の皆様によく理解を頂く様対応願います。</p>	<p>今後は都市計画審議会を開催し、専門家からのご意見を賜るとともに、本計画が市民の皆さんや事業者様にご理解いただき、まちづくりへのご協力をいただけるよう、計画の公表にあたりホームページや広報・説明会など積極的に周知してまいりたいと存じます。</p>

意見者	意見	対応方針
<p>Cさん (飯山市へ移住 女性)</p>	<p>基本的にとっても素晴らしい計画である。その上でさらに良くなればと思います。</p> <p>1. 飯山市街中心部はほとんどが浸水想定地域であり、「コンパクトシティ」として、未来にわたって積極的に街づくりを進めていくのは、そもそも前提条件として無理があるように感じます。</p>	<p>飯山市は城下町時代から飯山城を中心にまちづくりが進められ、都市機能が集積している飯山市街地が形成されています。</p> <p>飯山市街地中心部は浸水想定地域となっておりますが、市街地の歴史や文化を継承しつつ、現在の都市機能を維持するために、飯山市地域防災計画や飯山市国土強靱化計画に基づき、将来にわたり災害リスクの軽減や回避のための防災強化を行うとともに、浸水対策事業として「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」や「信濃川水系皿川広域河川改修事業」に国・県・市と連携して取り組んでおります。</p>
	<p>2. 「コンパクトシティ」は、行政サービスが集約できコストを下げる効果はあるかもしれませんが、コンパクトであることが誰にとってもベストの選択ではなく、すでに多くの集落が点在して形成されている飯山市には、「小さな拠点」の機能を強化して、どこにいても住みやすい街づくりを目指す方が安心、安全、経済的と考えます。</p> <p>今までの生活のように、どこかに中心となる大きな拠点がなくとも、これまでは不便とされていた課題をテクノロジーが解決する方向に向かうと考える方が自然です。(オンライン診療やネットスーパー、在宅勤務、自動運転技術等) また、現在の60代や2040年代に高齢者となる現在の40-50代はインターネットを日常的に使用しており、最新のテクノロジーにも抵抗なく適応が可能と思われまます。「小さな拠点」を最新のテクノロジーが使いやすいように支援・整備していく方向が最適ではないかと考えます。</p>	<p>飯山市まちづくり基本計画では、行政サービスや人口を中心拠点にすべて集約する考え方はございません。飯山市は市域が広く各集落で、すでに自治が形成されておりますので、ご提案いただいている「小さな拠点」のような考え方や、中心拠点と各生活拠点がしっかりとつながり持続的に暮らしに必要なサービスが享受できる市域全体の構造を目指しており、これが飯山市のすすめる「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の考え方です。</p> <p>また、ご提案いただいた、最新テクノロジーの活用について、飯山市では「Society5.0の実現に向け、未来技術を活用した、デジタル・トランスフォーメーション(DX)などの研究を進めてまいりたいと考えています。</p>

意見者	意見	対応方針
<p>Cさん (飯山市へ移住 女性)</p>	<p>3. 市の人口が半減するのは避けられない前提として、市のインフラを今後も維持するためには、単純に住民一人一人の所得を最低でも現在の2倍にしなければなりません。</p> <p>少数精鋭で付加価値の高いビジネスを拡大していくことが所得を上げていく道だと思いますが、そのための支援やインフラ整備、各種の規制緩和、景観条例の強化などが、街づくりにおいても重要だと思います。</p>	<p>都市経営の観点に立ち、公共施設個別管理計画に基づき適切な公共施設の配置とサービスの維持向上をめざすとともに、公民連携事業の活用や規制の弾力的な運用により、質の高いまちづくりと経済活動の活性化を図り、飯山市の価値が向上するよう進めてまいります。</p>
	<p>4. 日本全国どこに行っても建物や風景が似ていて金太郎あめ化しているため、前例や他の都市の事例などは気にせず、飯山市にしかできない独自のまちづくりと理想の未来を創造していくべきだと思います。</p> <p>「人生で一度は飯山に行ってみたい」と世界中の人々があこがれるような妥協しない環境作りを目指すべきだと思いますし、その可能性が十分にあると信じています。</p>	<p>ご提案いただいた「人生で一度は行ってみたい」といわれるよう、飯山市まちづくり基本計画および諸計画の実現に向けて飯山市のアイデンティティを磨き、取り組んでまいりたいと考えます。</p>